

令和7年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：石狩地区
- 2 事例報告学校名：恵庭市立和光小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 山谷 潤
- 4 キーワード：地域連携・学校運営協議会・地域防災訓練

1 はじめに

恵庭市は道央圏南部、札幌市と新千歳空港とのほぼ中間に位置し、JRや国道、高速道路など交通アクセスが非常に良く、札幌市のベッドタウンとして発展してきた人口約7万人の街である。本校校区は恵庭市の発展とともに宅地整備されてきた。学校自体が校区の南西端に位置しているため、児童は南北約4km、東西約3kmと非常に広範囲から通学している。児童数は平成後期に1,000人程度にまで増加したが、最近は減少傾向が進み、今年度はちょうど700人でスタートしている。とはいえ通常学級22、特別支援学級4の大規模校である。児童が多く校区も広大なため、登下校の安全対策や各種活動における地域からの支援体制が非常に重要となっている。

恵庭市は町内会活動が非常に盛んで、市内には発足から50年以上経過している町内会もあり、それぞれの地区の学校との結び付きも強い。

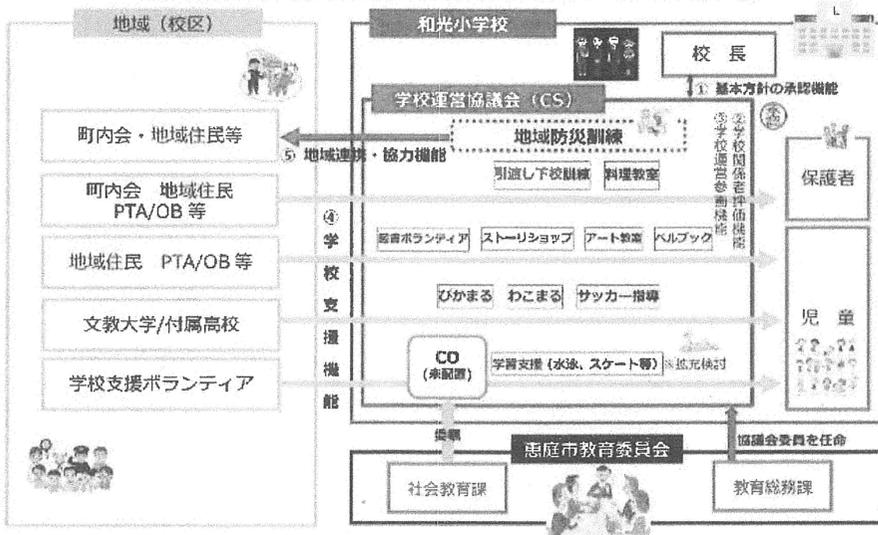
本校では、「恵庭市立学校における学校運営協議会に関する規則」に基づき、令和2年度より「和光小学校学校運営協議会」が発足し活動している。

2 和光小学校学校運営協議会

本校の地域との関わりは今まで、「地域の各種団体に学校の活動を支援してもらう」というものが中心であった。しかし、活動を行っていく中で、「地域への発信や連携、協力が不十分である」との反省点が出てきた。今年度はこの認識に立ち、学校経営方針の柱の一つに「学校運営協議会活動の一層の充実」を掲げた。

そこで、学校運営協議会の機能を五つに分類するとともに、特に地域との関わりが強い各種事業については、「地域からの支援を受けるもの：④学校支援機能」「地域へ発信・協力・貢献するもの：⑤地域連携・協力機能」という形で体系化した（下図）。

和光小学校/学校運営協議会（CS）における5つの機能及び事業の位置付け



3 地域防災訓練

本校運営協議会では、今年度の重点活動目標を「地域の協力を得た避難訓練等の実施と地域とのつながりの強化」とし、「地域防災訓練」の実施に向けて検討をしてきた。

事前の準備として、学校がある和光町内会の会長とともに、マニュアルの作成や防災備蓄品の確認、恵庭市役所との折衝などを行ってきた。

講師として、恵庭市総務部地域防災マネージャーの方をお招きし、①非常食試食②避難所開設についての講義③避難所設営訓練（段ボールベッド・簡易トイレ設置）という流れで実施することを決め、当日を迎えた。

当日は、土曜授業後の時間を利用して実施し、地域の方々、教職員、児童合わせて30数人に参加してもらうことができた。

4 まとめ

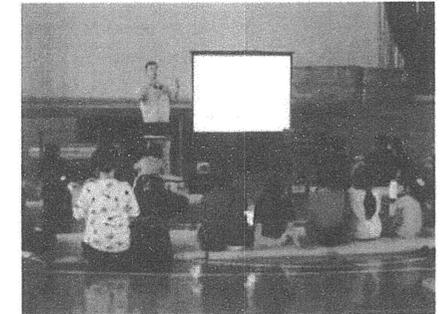
今回の活動を実施することで、地域住民の防災意識を高める足掛かりを作ることができたと考えている。

また、この訓練の計画にあたり、学校が積極的に関わることで、課題となっていた「地域への発信・協力・貢献」という面でも前進したのではないかと思います。

今後はより多くの地域の方々に参加いただくことで、実際に災害が起こった際にもスムーズな運営ができるよう、活動を充実・発展させていきたい。



非常食の試食



防災マネージャーによる講義



段ボールベッド



簡易トイレ